

デジタル社会における学び方と学びの場 —オンライン環境で「出来ること」「すべきこと」

開催地：新潟

グループ： 2班

2022.08.18

提言

これからのオンラインに向けて

ポイント①：学校とは何か

- ・オンラインの現状

 - 弓道部→昇段審査をオンライン

 - 三者面談→自己アピールのスライドを作った

 - 壮行会→一部生徒だけ体育館&他はオンライン



総合的な学びの場

主体性や協調性、上下関係など、科目だけではなく人間社会で大切なことも学ぶことができる→オンラインでは不可能？

例：授業中の何気ない会話，学校行事など

- ・自分の自由や願望だけを重視するだけでは無く，

互いを承認し合う力を養うことができる

ポイント②：オンラインのメリット・デメリット

メリット

- ・時間と場所を問わない
- ・感染症のリスクを下げられる

デメリット

- ・急速に普及したため、**慣れていない人が多い**（職員も含め）

→対面に比べて時間にルーズな人が多い

- ・話し合いがしにくい

→相手に直接言うわけではないため、**特定の人への誹謗中傷が生じてしまう**



ポイント③：理想のオンライン

さらにオンライン化と共に、

便り、教科書、ワークシートなども電子化してほしい

（紙を選びたい人は選択できるようにする。）

→現在は選択肢が多過ぎて、大変

オンライン上でもっと話しやすくなる

オンライン上で授業を自由に選択できる

例：他の学校の面白そうな授業をVR上で受けれる

次ページへ続く→

→③続き

普段の授業のアーカイブが残ったらいい

→全国で共有できれば不登校の人にも手を差し伸べられる

(SDGsの平等な学びも達成できる)

黒板を電子化して、共有可能にしてほしい

・社会全体として、AIの分析で個人の得意、苦手に合わせて

カリキュラムを組めるようになれば、より個人の学びを尊重できるようになる

ポイント④：高校生が期待する コミュニケーションの未来

- ・リアルとオンラインのコミュニケーションの違和感を払拭したい
⇒リアルとオンラインを分けた方がいい
(全てをオンライン化するのは違うと思う)
→うまく活用→孤独死の問題の解決
- ・ **相**談窓口としてのアプリケーション
SNSのコミュニティができたらいいい
→辛い思いをする人を減らすことができる
- ・ **現**実とオンラインで自分の環境や心持ちを
切り替えられる場所ができたらいいい (精神的な負担減少)

政府への提言

平等で多様な教育にむけて（SDGs）

- ・教科書、ワークシート、お便り、黒板などの電子化の促進
- ・各授業のアーカイブを残す
- 情報の共有を加速
- ・受講したいオンライン授業を選択できるようにする
- ・AIで個人の成績、進捗に合わせたカリキュラムを組む技術を公教育へ
- 多様な学び方の実現

その他

- ・新しい授業アプリの開発...オンライン上でも班活動が可能なものに
- ・教員へのオンライン活用研修を行う



個人への提言

最重要：互いを承認し合う

- ①互いの意見を尊重する
- ②学習の選択の多様化→選択の尊重

・リアルとオンラインでのコミュニケーション
→2つを分けて考え、環境や気持ちの切り替えを